

報道機関各位

マルチワンセグメントサービス実証実験協議会

さっぽろ地下街と大通公園で「次世代ワンセグ放送マルチワンセグ無料体験」 ～11月27日から総務省「ユビキタス特区」実証実験を実施～

マルチワンセグメントサービス実証実験協議会(事務局:札幌総合情報センター株式会社)は、マルチワンセグメントサービスの実現に向けた送信・受信技術の実証、各種コンテンツやサービスの事業性の検証を目的に、総務省「ユビキタス特区」(マルチワンセグメントサービスの実証)の一環として、「次世代ワンセグ放送 マルチワンセグ無料体験」と題し、実証実験を実施いたします。

「次世代ワンセグ放送 マルチワンセグ無料体験」では、様々なコンテンツや体験型ゲームの提供を行うほか、地上デジタル放送のワンセグやさっぽろ地下街と大通公園でしか視聴できないエリア周辺の最新グルメ&クーポン、イベント情報、デートスポット情報、中国観光客向けコンテンツなど、期間限定でお得・ワクワク感のある独自番組が体験できます。

実験期間中は、これらの番組を視聴するための携帯電話型実験端末をさっぽろ地下街「オーロラプラザ」において貸出しを行います。

実証実験概要

「次世代ワンセグ放送 マルチワンセグ無料体験」

期 間:平成21年11月27日(金)～平成21年12月24日(木)

放送時間:10:00～21:00

場 所:さっぽろ地下街(オーロラタウン、ポールタウン)、大通公園(西1丁目～西4丁目)

対 象:市民及びイベント来場者、国内外観光客

視聴端末:携帯電話型実験端末100台

USB型受信チューナー80台(パソコン等のUSB対応端末向け)

※通常のワンセグ対応端末にて視聴可能なチャンネルもあります。

—最新情報はメールマガジン及び協議会ホームページで随時更新・提供していきます。—



PC用メールマガジンの登録は、協議会ホームページからお申込みいただけます。

ケータイ用メールマガジンの登録は、バーコードから簡単にアクセスできます。

(マルチワンセグメントサービス実証実験協議会HP <http://www.sweb.co.jp/multi-oneseg/>)

マルチワンセグメントサービスとは

通常のテレビ放送の1チャンネル分にあたる帯域幅(6MHz)を、現在の地上デジタル放送で提供されているワンセグ放送と同様の方式・品質による放送に全て割り当てることにより、13チャンネル分の放送を可能にする技術です。

特にモバイル端末向けに多チャンネル放送サービスを提供するだけでなく、限られたエリアでの放送サービスの提供や、番組の代わりにデータをダウンロードする等のサービスを提供することができます。

実証実験では、札幌市を代表する地域イベントである「ミュンヘン・クリスマス市」、「ホワイト・イルミネーション」を軸にさっぽろ地下街及び大通公園エリア（1丁目～4丁目付近）の2箇所において、ユビキタス特区で指定された周波数帯（UHF32チャンネル）を活用し、来街者にマルチワンセグメントサービスを体験してもらうことで、エリア特化型放送の特徴を活かした域内イベント及び店舗等への誘導ツールとしての可能性、また、モバイル端末等によるマルチワンセグメントサービスの特徴を活かしたエンタテインメントコンテンツ、イベント及び地域コンテンツの提供等、様々なビジネスモデルの可能性の等を検証します。

<総務省「ユビキタス特区」事業>

ユビキタス特区は、総務省が「ICT改革促進プログラム」（平成19年4月20日）及び「ICT国際競争力強化プログラム」（平成19年5月22日）に基づき、世界最先端のICTサービスを開発・実証し、日本のイニシアティブによる国際展開可能な「新たなモデル」を確立することを目的として創設された特区制度です。

マルチワンセグメントサービスの実証は、平成20年5月に札幌市、留寿都村（北海道洞爺湖サミット会場エリアを含む）に特区指定され、各種実証実験を実施しております。

<マルチワンセグメントサービス実証実験協議会>

実証事業を円滑かつ効率的に遂行することを目的に、事業実施主体である札幌総合情報センター株式会社（SNET）を事務局として、地元放送事業者、通信事業者等の関係事業者を会員として設立されたものです。

事務局：札幌総合情報センター株式会社

会 員：エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社、財団法人NHKエンジニアリングサービス、株式会社NHKアイテック、日本放送協会札幌放送局、北海道テレビ放送株式会社（道内民放代表）、KDDI株式会社、株式会社札幌都市開発公社、株式会社つうけんアドバンス システムズ、株式会社ソフトフロント、株式会社エストコスモ、社団法人デジタルメディア協会

オブザーバー：総務省北海道総合通信局、札幌市

<札幌総合情報センター株式会社>

札幌総合情報センター株式会社は、国のテレトピア構想モデル地域として昭和60年に指定された札幌市の「スノートピア計画」推進の一翼を担う法人として、第3セクター方式により昭和63年に設立され、地域に密着した独自の気象情報システム「SORAMIL（そらみる）」は、札幌市の雪対策を始め、道路管理、施設管理、航空運行管理などの分野で利用されています。

また、行政情報並びに地域情報の調査研究、システム開発、運用管理を担ってきたほか、情報通信・放送技術の研究開発に関する実証実験へも積極的に関わり、札幌地域における地域情報化の先駆的役割を果たしています。とりわけ近年は、情報セキュリティ対策の支援事業や交通系ICカードの開発運用事業への取り組みも加わり、地域の情報施策の大きな役割を担っています。

問合せ先

マルチワンセグメントサービス実証実験協議会（事務局：札幌総合情報センター(株) 田中、細野）
Tel：011-816-9800 Fax：011-816-7912 Email：multi-oneseg@sweb.co.jp